

保幼小連携だより No.4

《2016年12月発行》

宗像市教育子ども部子ども育成課
TEL (0940)36-1214(直通)

保幼小連携だよりでは、『宗像市幼児教育振興プログラム』に基づく保育所・幼稚園・認定こども園・小学校の連携と接続強化のための取り組みを紹介します。(市のHPにも掲載しています。)

平成27年度 第3回保幼小連絡会

福岡教育大学附属幼稚園で保育参観を開催

保幼小の職員間の交流を図り、連携強化につなげるため、市では、年2回、市内の保育所・幼稚園・小学校の先生を対象に、保育参観と意見交換会を開催しています。

今回は、1月28日(木)に福岡教育大学附属幼稚園で開催しました。

《実施内容》参観オリエンテーション、保育参観、意見交換会

《参加者》保育所保育士 18人、幼稚園教諭 15人、小学校教諭 14人、市職員 10人、教育委員 3人
(合計 60人)



参加者の声

保育所

- 保育3年間を通して、話を聞くこと、伝えることが身につけて、発展して皆で話が出来ていた。
- 十分に遊びのコーナーがあり、トラブルなく、子どもたちが伸び伸びと遊んでいるところが素晴らしい。
- 子どもたちの思いや気持ちを全体で共有していくことの大切さを感じた。
- 子どもたちが自分の意志で遊びを選べ楽しく工夫できる環境が良かった。○他の園の保育を見せていただくことはとてもありがたい。保育の中で育てていくべきことは、とても多いと改めて感じた。



幼稚園

- 子どもたちに自分で考えさせる声掛けをされていたのが勉強になった。
- 一人一人の意見をしっかり聞くことができています。その話に対して、また話をつないでいく姿は自分の園でも取り組みたいと感じた。
- 遊びが継続し、発展するような工夫があった。
- 教師間の連携が良かった。
- 縦割りの遊びがとつても充実している。環境が整っている。

小学校

- 「聞く」姿勢づくりに努力されていることに感心した。幼児期に「しっかり聞く」「相手を思い、受け入れる」態度を身に付けることは、入学後に生きていくと思う。
- 遊びの道具の準備や片づけがスムーズにできるように、きちんとルールや活動の流れができていたのがすごいと思った。
- 子どもの思いを大事にして、活動が発展している。
- 振り返りの時間をしっかり取っていることで、個々の遊びを十分楽しんだ後、話題をみんなで共有することができていた。

第1回保幼認小連絡会

6月8日(月)メイトム宗像で保幼認小連絡会を開催。まず、宗像市の保幼小連携についての説明後、福岡県教育センターの主任指導主事である原クミ氏と指導主事の企救岳礼氏による「保幼小連携の必要性」の講義がありました。保幼小における連携の取り組みと幼小接続の重要性について理解を深めました。

《実施内容》講義、グループ別協議

《参加者》保幼認園長、主任保育士、小学校校長、教頭 (合計 34人)



《 グループ別協議の様子 》

第2回保幼認小連絡会

ひかい幼稚園 で 保育参観 を開催【H28年6月22日(水)】



《 給食時の様子 》

保育参観については、遊びの環境や給食の様子についての意見が多く出されました。

その後の意見交換会では、食育、特別支援などについて活発な情報交換が行われました。育ちの連続性や保幼認小それぞれの環境の違いに気付き、幼児教育と小学校教育の接続について考える機会となりました。

《実施内容》参観オリエンテーション、保育参観、意見交換会

《参加者》保育所保育士20人 幼稚園教諭4人
認定こども園教員3人 小学校教諭16人
市職員12人 (合計55人)

参加者の声

保育所

- 子どものことを考えて、教材等手づくりされていることに感心した。
- 支援が必要な子も、伸び伸びと遊びを楽しめていて、他の子と変わりなく過ごせているところに先生方の保育配慮のすばらしさを感じ、感心した。

幼稚園

- 食に対する指導がとても行き届いていると感じた。
- 食事では、箸の持ち方、食事の姿勢を先生がよく配慮されている。
- 発達支援について、いろいろな意見交換ができ良かった。

認定こども園

- 給食の時に、子どもの体に合ったサイズの台を使っていて参考になった。
- 園見学や意見交換をすることで、発見すること、学ぶことが多くあった。

小学校

- 明るく伸び伸びとした雰囲気の中で保育がされていると感じた。先生たちの細やかな配慮や支援がたくさんあった。
- 小学校で指導している椅子の座り方、体操座り、箸の持ち方等、しっかり指導されているので、入学してから指導しやすい。